

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、平成31年2月6日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- ・ 運転免許の取消処分について

2 報告事項

(1) 警察職員の職務執行等に関する感謝事例について（平成30年10月～12月）

県警察から、警察職員の職務執行等に関する感謝事例に関する報告があった。
平成30年10月から同年12月末までの間、警察活動に対して県民等から寄せられた感謝事例が10件あった。

内訳は、「警務警察活動」2件、「生活安全警察活動」3件、「刑事警察活動」3件、「交通警察活動」2件であった。

内容は、「町内会清掃活動に対する礼状」、「パスポート遺失事案に対する礼状」、「山岳遭難者家族からの礼状」などであった。

委員から、『警察職員の丁寧で細かい対応が感謝事例につながっている。今後も県内外、海外から来られる方に真摯に対応していただきたい。』との発言があった。

(2) 平成30年中における遺失物・拾得物取扱状況について

県警察から、平成30年中における遺失物・拾得物取扱状況に関する報告があった。
遺失届の受理件数は23,192件で、このうち現金の届出総額は1億4,657万9,252円となっている。物品は80,312点で、このうち証明書類・カード類の届出が43,290点で、全取扱いの53.9%を占めた。

また、拾得届の受理件数は117,100件で、このうち現金の届出総額は9,379万5,538円、物品の届出は153,650点であった。

駅、商業施設等の施設占有者からの届出は106,447件で、全取扱いの90.9%を占めた。
拾得の届出があったもののうち、遺失者に返還された件数は11,653件であった。

委員から、『遺失、拾得物件の数が相当多いことから、大変な業務である。管理には十分気を付けていただきたい。』との発言があった

(3) 平成30年中の非行少年等の概況について（暫定値）

県警察から、平成30年中の非行少年等の概況に関する報告があった。

非行少年は118人と、前年より16人（11.9%）減少した。また、福祉犯の検挙人員は52人と、前年より8人（18.2%）増加、被害人員は36人と、前年より1人（2.9%）増加した。引き続き、福祉犯の取締り等を強化するとともに、街頭補導活動、広報啓発活動等の非行防止対策に積極的に取り組む。

委員から、『非行少年の検挙・補導が目に見えて減っている。しかし、スマートフォン等の利用により、直接目に触れない部分での事案が増えていることも考えられることから、関係機関等と連携し、しっかりと対応していただきたい。』との発言があった。

(4) 平成30年中の子供・女性を対象とする性犯罪等の前兆事案の取扱状況について
(暫定値)

県警察から、平成30年中の子供・女性を対象とする性犯罪等の前兆事案の取扱状況に関する報告があった。

認知件数は441件と、前年より95件(27.5%)増加した。

18歳未満の児童・生徒が被害者となった事案のうち行為者が判明した事案は112件と、前年より44件(64.7%)増加し、18歳以上の女性が被害となった事案のうち行為者が判明した事案は79件と、前年より20件(33.9%)増加した。

委員から、『子供と女性が性犯罪等の被害に遭わないように、広く情報を収集して行為者の特定に努め、犯罪発生未然防止を第一に対応していただきたい。』との発言があった。

(5) 平成30年中の110番通報受理状況について(暫定値)

県警察から、平成30年中の110番通報受理状況に関する報告があった。

平成30年中の110番総受理件数は36,485件と、前年より488件(1.4%)増加した。

このうち有効な件数は31,949件と、前年より123件(0.4%)減少し、いたずら等の非有効件数は4,536件と、前年より611件(15.6%)増加した。

110番通報の内容別では、交通事故等が14,996件と最も多く、次いで各種情報が6,371件であった。

また、有効な110番通報のうち、各種照会、要望・苦情・相談などの緊急性の低い通報は3,259件で、有効件数全体の10.2%を占めた。

委員から、『今後、来県する外国人のレンタカー利用なども増えると思われる。外国人からの110番通報の増加に備えた対策をお願いする。いろいろな形での110番通報の適正利用に関する広報をしていただきたい。』との発言があった。

(6) 平成31年1月中の交通事故発生状況について(概数)

県警察から、平成31年1月中の交通事故発生状況に関する報告があった。

1月中の交通事故は、発生件数150件、死者数2人、負傷者数180人と、前年同期より発生件数は14件、負傷者数は15人いずれも減少した。死者数は同数であった。

1月中の高齢者が第1当事者となった交通死亡事故の発生はなかった。

委員から、『3つのキーワード「高齢者・国道・軽トラ」への対策、自宅周辺で多発している事故を減らすための地域協力が大事である。高齢者への声掛けをお願いする。』との発言があった。